

授業改善のポイント 第5学年

資料と本文を関係付けて読む力を付ける

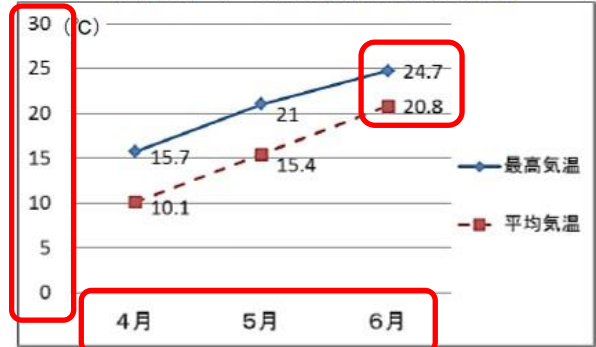
まず、「縦」「横」「大きく変化しているところ」など、資料を読み取る視点を児童に教えます。この視点は、算数科や社会科など、他教科等の学習と関連付けて指導すると有効です。次に、本文を基にして資料のどこと関係付けられるのかを考えさせます。

① 資料の縦と横は、それぞれ何を表しているかな？

【資料A】保健室を利用した人の理由とその数

	けが (すりきず・打ぼくなど)	体調不良 (頭つう・腹つうなど)	その他	合計
4月	46人	48人	25人	119人
5月	91人	40人	21人	152人
6月	98人	72人	28人	198人

【資料B】4～6月の最高気温と平均気温



資料Aは、縦が「月」を、横が「利用した理由ごとの人数」と「合計の人数」を表しているね。資料Bは、縦が「気温」を、横が「月」を表しているね。体調不良を理由に保健室を利用した人は、5月から6月にかけて30人以上増えている。これは大きな変化だね。

② 話し合いでは、それぞれの保健委員が何と言っているかな？

【話し合いの様子①】

大野さん：【資料A】を見ると、保健室を利用する人の合計が一番多いのは、アですね。

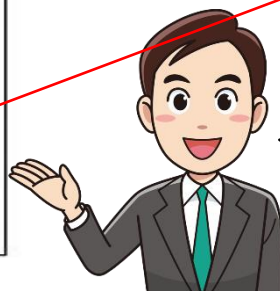
平田さん：【資料A】の保健室に来る理由を見ると、四月から六月にかけて増え続けているのは、イですね。

丸山さん：【資料A】を見ると、五月から六月にかけて、三十人以上も増えたのは、ウですね。

大野さん：どうして夏が近づくと、けがが増えるのでしょうか。

【資料A】保健室を利用した人の理由とその数

	けが (すりきず・打ぼくなど)	体調不良 (頭つう・腹つうなど)	その他	合計
4月	46人	48人	25人	119人
5月	91人	40人	21人	152人
6月	98人	72人	28人	198人



それぞれの保健委員が、資料についてどのように発言しているのかを本文から探ることが大切です。

指定された字数で書く力を付ける

学んだことの振り返りを書かせるなど、普通の授業から児童に書くことを習慣付けておくことが大切です。児童が書いた内容に教師が肯定的な価値付けをすることで、児童の作文の質や意欲が向上します。聞いたことや考えたことをメモする習慣も付けておくと、意見文のような長文の内容を構想する際に役立ちます。

① 意見文を書くときの条件は何か？

250字なんて長い文章を書けるか心配だなあ。まず、何をすればよいのかな？



まず、示されている条件をしっかりと確認することです。今回の条件は、①250字以上340字以内で書く。②「始め—中—終わり」の三部構成で書く。③指定された内容で、四段落で書く。これらの条件を踏まえて書けば、250字以上の文章は書けるようになっています。



※ 条件を満たしていれば「話し合いの様子」を参考にしても、自分の考えを入れてかまいません。

④ 「終わり」には、解決するための方法とげきで発表する案のよいところをかんたんにまとめて書くこと。	③ 「中」には次のことを書くこと。 ・二だん落目には、げきで発表する案の問題点を書くこと。 ・三だん落目には、解決するための方法を書くこと。	② 「始め」には、げきで発表するという立場とその理由を書くこと。	① 「二百五十字以上三百四十文字以内で書くこと。」
---	--	----------------------------------	---------------------------

問い七 あなたは、体調不良を防ぐ方法をげきで発表することに賛成し、その理由を説明しました。次の条件に合わせて、げきで発表する案についての意見文を書きましょう。

② 組み立て表を使って意見文の大まかな内容を決めよう。

終わり (4だん落目)	中		始め (1だん落目)
	解決策 (3だん落目)	問題点 (2だん落目)	
このように、すすれば、げきは、 できるよい方法だと思えます。	しかし、すすれば、できると思えます。	たしかに、げきで発表する方法には、すという問題点があります。	わたしは、げきで発表するのがよいと思います。なぜなら、
子どもたちもあまぎに聞ける	役割を作って分担すれば、低学年の練習の時間も少なくてすむ。	必要になるという問題点。	「メモらん」 なぜなら、低学年の子どもたちもあまぎに聞いてくれると思うから。

いきなり原稿用紙に意見文を書こうとすると、書いている途中で直さなければならなくなったり、示されている条件を見落とししたりするんだよなあ。



組み立て表を使って、意見文の大まかな内容をメモしてみましょう。組み立て表に書くメモをふくらませておくと、意見文を書くときに困ることも減ります。

また、5学年は15分で350字程度書けるとよいですね。



説得力のある文章を書く力を付ける

まず、本文の言葉を基にしてその内容を読み取らせたり、自分が経験したことを想起させたりします。そのことによって、解決策が思い浮かびやすくなります。次に、考えた解決策で問題点が本当に解決するのか、論の整合性を吟味させます。

① げきで発表することにはどんな問題点と解決策があるかな？

青山さん	川井さん
たしかに、げきには、わたしたちの動きばかりが注目されるという問題点があります。でも、「外で遊ぶときはほうしをかぶる」「水分をこまめに」というように、画用紙に書いて見せれば、大切なことがうまく伝わると思っています。	ぼくは、げきで発表することに反対です。げきは、発表するわたしたちの動きばかりが目されて、ほうしをかぶり、水分をこまめにとるという大切なことがうまく伝わらないと思います。

話し合いが続く

「問題点」という言葉を手がかりにして本文を読むと、参考にできる考えが見つかるね。

実際にげきで発表した経験を思い出してみると、他の問題点や解決策が思いつくよ。

【自分の考えで書いた場合】
これまでの経験を思い出してみると…
「わたしがげきで発表したときは、練習するための時間がたくさん必要だったな。」
↓
「いろいろな役をみんなで分担すれば、せりふも短くなって、時間も少なくてすむな。」

② その解決策で問題点は解決したことになるのかな？

【問題点】げきは、動きばかり注目される。



【解決策】× 注目されないような動きにすればよい。
○ 画用紙に書いて見せれば、大切なことがうまく伝わる。

これで、「大切なことがうまく伝わらない」が解決されたことになるのかな？



ただ書いて終わりではなく、解決策の内容が問題点を解決するものになっているか、もう一度読み返すことが大切です。

内容をまとめて書く力を付ける

本文の内容を検討させるなどして、「まとめて書く」ことのイメージを児童にもたせることが大切です。「まとめて書く」とは、単に内容をくり返して書くのではなく、伝えたい内容を意識して簡潔に書くことです。

① 「まとめて書く」とは、どういうことかな？

「つまり」「このように」といった接続語は、考えをまとめるときに使うよね。本文を参考にするので、「まとめて書く」というイメージがもちやすくなるね。



「～すれば、一なる。」という表現で、げきの解決策とよいところに簡単にふれることが、「まとめて書く」ことなんだね。



② 自分でも、意見文の「終わりの段落」に、内容をまとめて書いてみよう。

「解決するための方法とげきで発表する案のよいところをかんたんにまとめて書くこと」という条件に合っているか、書いた文章を読み返すことが大切です。



記述例一（問題より）

① わたしは、げきで発表することに賛成です。
 ② なげなら、外で遊ぶときはぼうしをかぶり、
 ③ 水分をこまめにとるところをげきで演じれば、
 ④ 外で遊ぶ様子がよく伝わって、みんなに楽し
 ⑤ んで聞いてもらえると思うからです。
 ⑥ たしかに、げきで発表する方法には、わた
 ⑦ したちの動きばかりが注目されて、大切なこ
 ⑧ とがうまく伝わらないという問題点がありま
 ⑨ す。
 ⑩ しかし、「外で遊ぶときはぼうしをかぶる」
 ⑪ 「水分をこまめにとる」というように、画用
 ⑫ 紙に書いて見せれば、大切なことを集中して
 ⑬ 聞いてもらえると思います。
 ⑭ このようは、大切なことをうまく伝える工
 ⑮ 夫をすれば、楽しんで聞いてもらえるよい方
 法だと思えます。

話し合いが続く

【司会】
 大野さん
 青山さん
 川井さん
 青山さん

つまり、正解の理由をしっかりと説明すれば、〇×クイズは、大切なことを集中して聞いてもらえるよい方法であるということですね。他の意見はありますか。

わたしは、げきで発表するのがよいと思います。ぼうしをかぶり、水分をこまめにとるところをげきで演じれば、外で遊ぶ様子がよく伝わって、みんなに楽しんで聞いてもらえると思うからです。

ぼくは、げきで発表することに反対です。げきは、発表するわたしたちの動きばかりが注目されて、ぼうしをかぶり、水分をこまめにとるところが大変なことがうまく伝わらないと思います。

たしかに、げきには、わたしたちの動きばかりが注目されるという問題点があります。でも、「外で遊ぶときはぼうしをかぶる」「水分をこまめにとる」というように、画用紙に書いて見せれば、大切なことがうまく伝わると思えます。

(三〇八字)